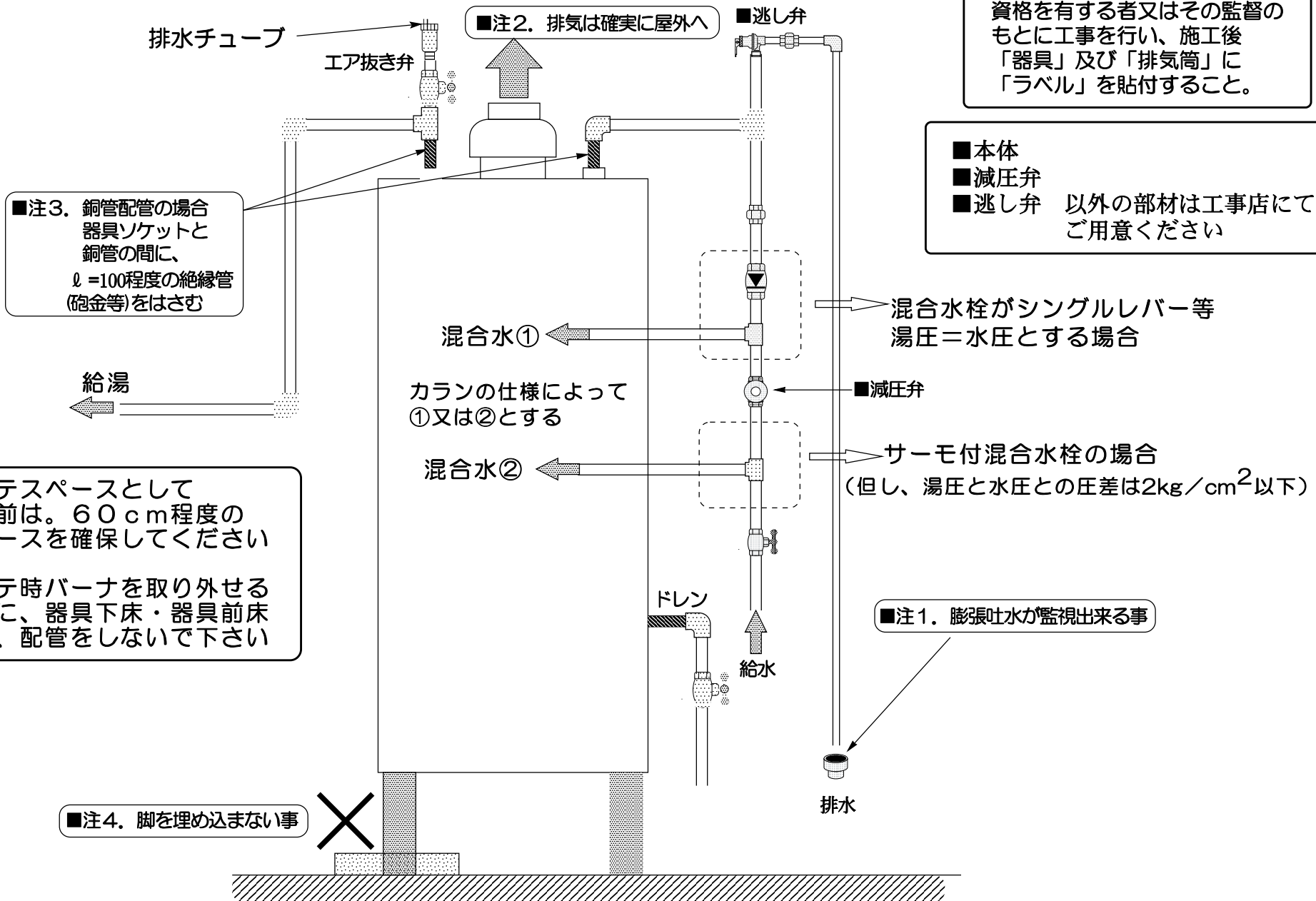


標準配管-1-1 S-80, S-110, S-160, S-200



器具を屋内に設置する場合
「特定機器設置工事監督者」の
資格を有する者又はその監督の
もとに工事を行い、施工後
「器具」及び「排気筒」に
「ラベル」を貼付すること。

■本体
■減圧弁
■逃し弁 以外の部材は工事店にて
ご用意ください

■注3. 銅管配管の場合
器具ソケットと
銅管の間に、
ℓ=100程度の絶縁管
(砲金等)をはさむ

■メンテスペースとして
器具前は、60cm程度の
スペースを確保してください

■メンテ時バーナを取り外せる
ように、器具下床・器具前床
には、配管をしないで下さい

■注4. 脚を埋め込まない事

■注6. 床は堅牢且つ、万一の器具などの漏水対策を施してあること

■注2. 排気は確実に屋外へ

■逃し弁

排水チューブ

エア抜き弁

混合水①

カランの仕様によって
①又は②とする

混合水②

混合水栓がシングルレバー等
湯圧=水圧とする場合

■減圧弁

サーモ付混合水栓の場合
(但し、湯圧と水圧との圧差は $2\text{kg}/\text{cm}^2$ 以下)

■注1. 膨張吐水が監視出来る事

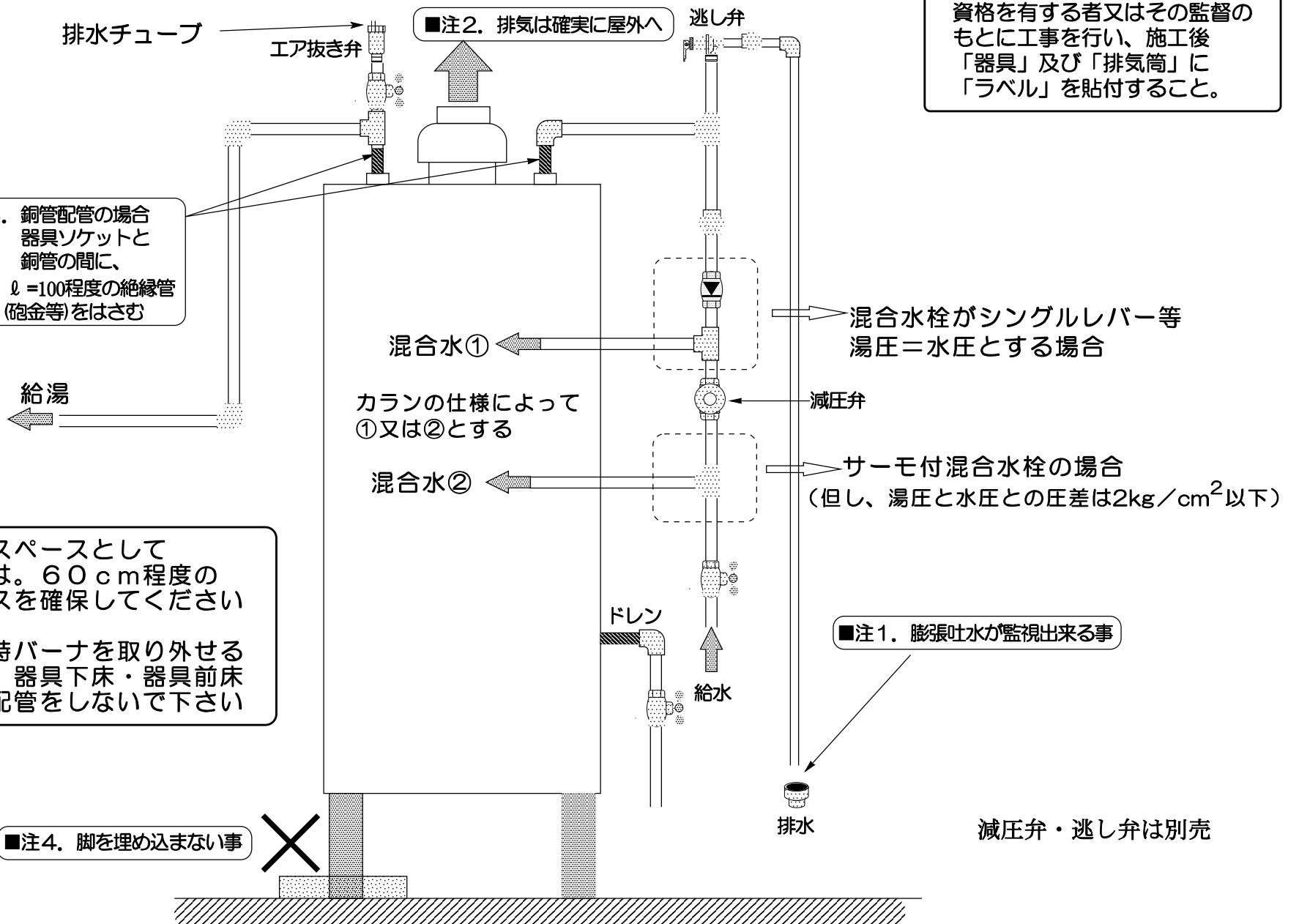
ドレン

給水

排水

標準配管-2-1 S-80-R, S-160-R

器具を屋内に設置する場合
「特定機器設置工事監督者」の
資格を有する者又はその監督の
もとに工事を行い、施工後
「器具」及び「排気筒」に
「ラベル」を貼付すること。



■注3. 銅管配管の場合
器具ソケットと
銅管の間に、
 $\phi = 100$ 程度の絶縁管
(砲金等)をはさむ

■注2. 排気は確実に屋外へ

混合水栓がシングルレバー等
湯圧=水圧とする場合

減圧弁

サーモ付混合水栓の場合
(但し、湯圧と水圧との圧差は $2\text{kg}/\text{cm}^2$ 以下)

■注1. 膨張吐水が監視出来る事

減圧弁・逃し弁は別売

■注4. 脚を埋め込まない事

■メンテスペースとして
器具前は、60cm程度の
スペースを確保してください

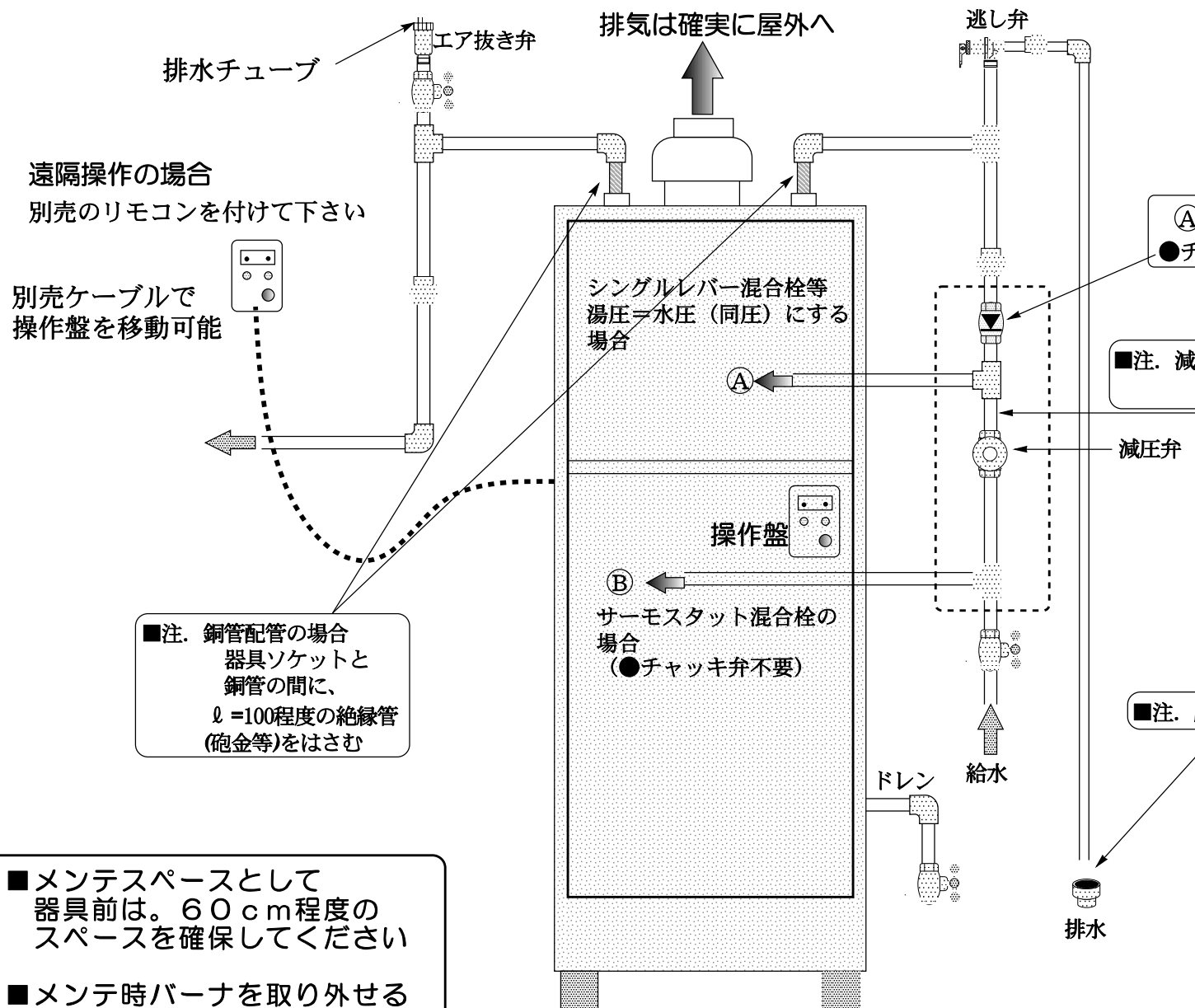
■メンテ時バーナを取り外せる
ように、器具下床・器具前床
には、配管をしないで下さい

■注6. 床は堅牢且つ、万一の器具などの漏水対策を施してあること

標準配管-4-1

S-80-SK , S-160-SK

■注。器具を屋内に設置する場合
「特定機器設置工事監督者」の
資格を有する者又はその監督の
もとに工事を行い、施工後
「器具」及び「排気筒」に
「ラベル」を貼付すること。



遠隔操作の場合
別売のリモコンを付けて下さい

別売ケーブルで
操作盤を移動可能

■注。銅管配管の場合
器具ソケットと
銅管の間に、
φ=100程度の絶縁管
(砲金等)をはさむ

Ⓐの場合
●チャッキ弁

■注。減圧弁の下流側の管は
耐熱管を使用

■注。膨張吐水が監視出来る事

■メンテナンスとして
器具前は。60cm程度の
スペースを確保してください

■メンテナンス時バーナを取り外せる
ように、器具下床・器具前床
には、配管をしないで下さい

減圧弁・逃し弁は別売